

# 精神医学と人権～過去・現在・未来～



◆10月3日(木)午後6時半～

◆会場:エルプラザ大研修室C

◆参加費:無料

◆講師:田村修さん

(勤医協中央病院精神科・リエゾン科科長)

精神科医 1988年旭川医科大学卒。2008年より勤医協中央病院精神科・リエゾン科科長。総合病院内での連携診療に従事するかたわら、過労自死をはじめとした職場のメンタルヘルス問題、地域のホームレス問題など、これまで「個人の問題」として排除されてきた課題に取り組み、包摂する社会づくりを目指す。『海外派遣自衛官と家族の健康を考える会』北海道・東北支部代表幹事。

**過去** ナチスドイツのホロコースト、日本における私宅監禁や強制不妊手術…これまで多くの精神障害者の人権侵害が行われてきました。どうして精神障害者の人権は侵害されてきたのでしょうか？国内外の歴史を俯瞰してみましょう。

**現在** 「虐待」問題、IR法と「ギャンブル依存」、「発達障害」バブル…何かあるたびにTVでは精神科医が色々コメントしますが、社会は全然よくなっている気がしないのはなぜ…？精神医学におまかせではなく、一人ひとりが正しい知識をもって、身近な問題として向き合うことが大切です。なんでも医学で解決できるかのような幻想を持つのは、やめましょう。

**未来** 東区内に整備が予定されている「医療観察法入院病棟」。これってどうなの？医療観察法制定までの経緯とその問題点。現状の課題について、時間いっぱい語りつくします。

主催:「医療九条の会・北海道」

問い合わせ ☎011-758-4585 (北海道民医連)